

第2回 国道399号法面崩落に係るいわき地方対策本部会議

次 第

日時：令和7年6月13日（金）11時～

場所：いわき合同庁舎南庁舎3階大会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

（1）法面崩落の対応状況について

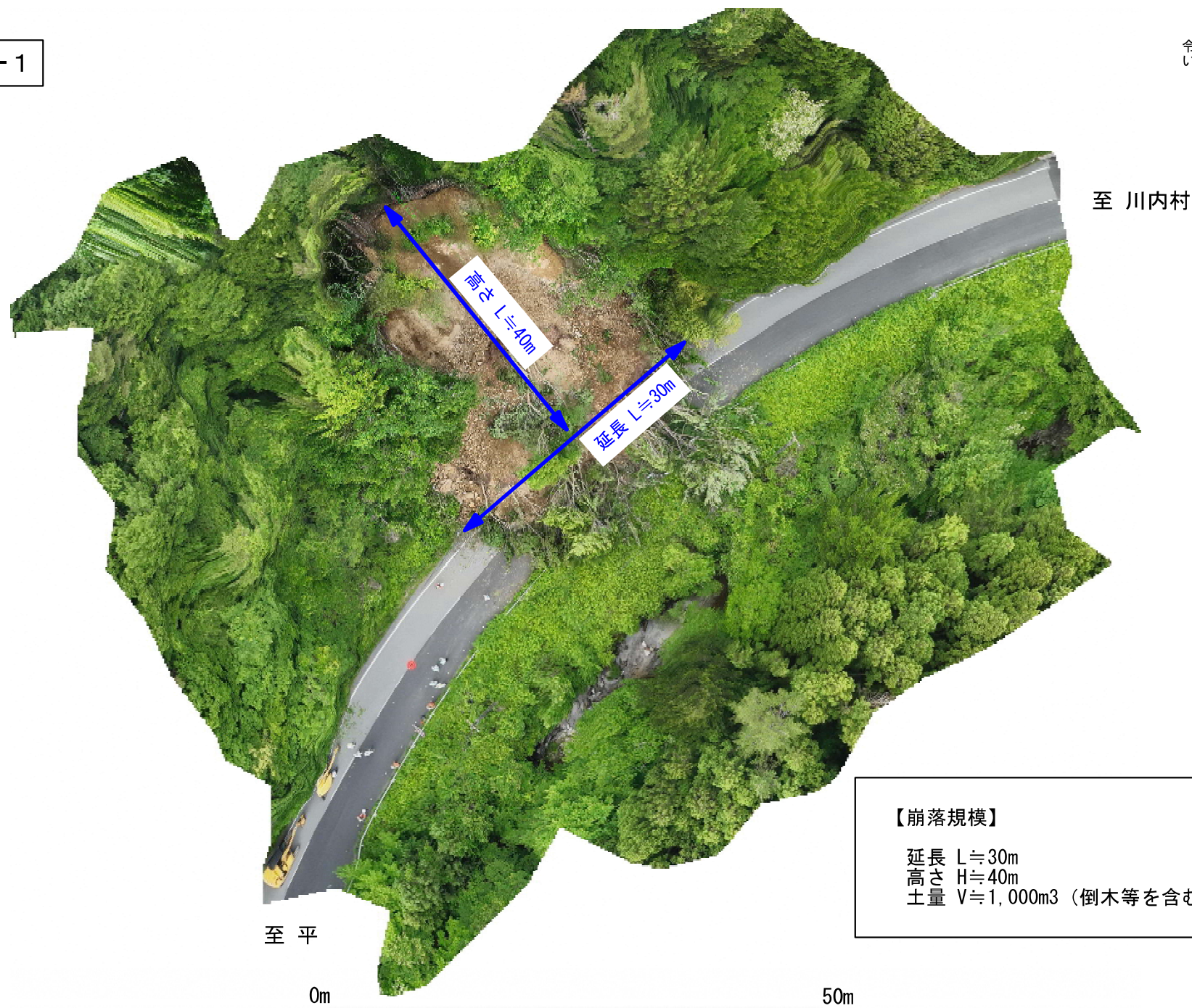
資料1

（2）交通開放の見通しについて

資料2

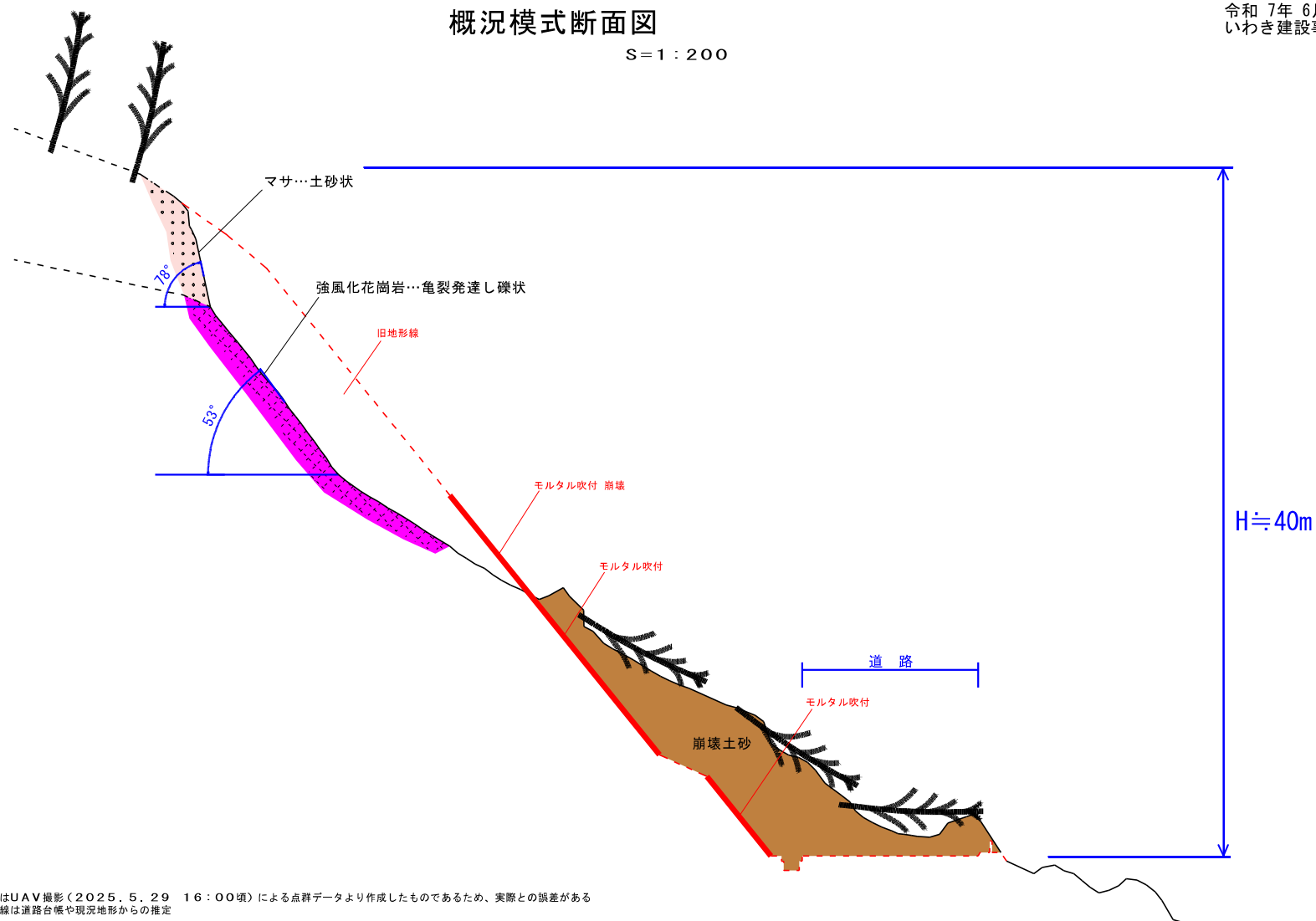
（3）意見交換

4 閉 会



【崩落規模】

延長 L≒30m
高さ H≒40m
土量 V≒1,000m³ (倒木等を含む)



【地質状況】

法面上部 … 真砂(マサ)
法面中段 … 強風化花崗岩

【要因】

既設モルタル吹付内部の岩盤(花崗岩)が経年で風化、土砂化し、吹付が崩落。
さらに上部斜面の法面が崩落したと考えられる。



地上からの被災状況



災害斜面 全景



法肩の崩壊状況



不安定土塊
(浮石)



遠隔操作バックホウ掘削状況

R7.6.8 撮影

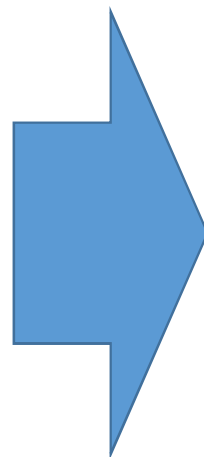


法面上部の不安定土塊や浮石が落下する危険性があったことから、国土交通省の遠隔操作バックホウによる掘削を実施

被災直後

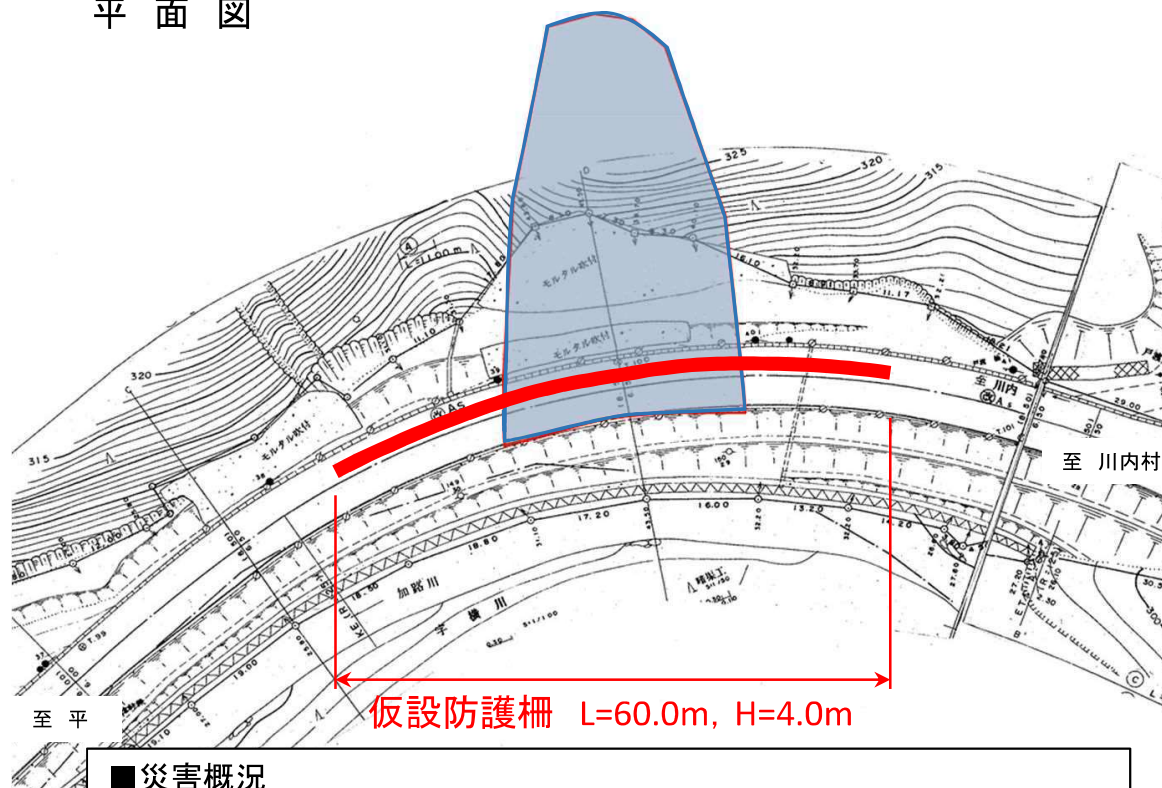


現場状況



国道399号法面崩落について

平面図



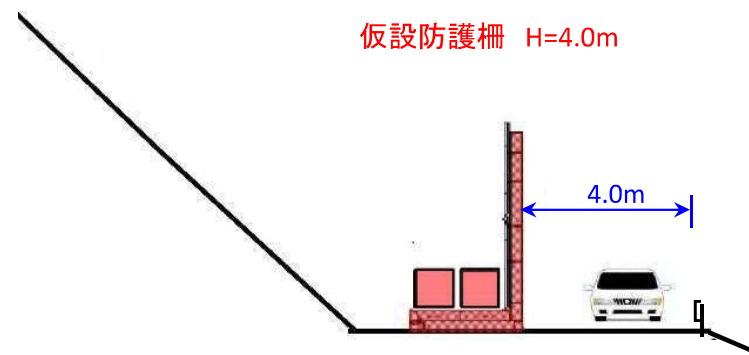
■災害概況

- ・災害箇所：福島県いわき市小川町上小川字猪小屋地内
- ・発生日時：令和7年5月29日(木) 午後1時30頃
- ・法面状況：延長 $L \cong 30\text{m}$ 、高さ $H \cong 40\text{m}$ 、土量 $V \cong 1,000\text{m}^3$
- ・被害状況：法面崩落(コンクリート吹付、落石防止網破損)
車道の閉鎖、電柱の破壊

■今後の対応

崩落土砂撤去後は、法面に不安定土砂が残っていることから降雨状況等天候を注視し、安全を最優先しつつ仮設防護柵を設置、**6月27日(金)**の片側交互通行による一般車両の交通開放を目指す

標準横断図



仮設防護柵参考写真



撮影場所：(主)いわき市石川線 いわき市遠野町若宮地内